

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 2 部門第 6 区分  
【発行日】令和 2 年 6 月 18 日 (2020.6.18)

【公表番号】特表 2019-521044 (P2019-521044A)  
【公表日】令和 1 年 7 月 25 日 (2019.7.25)  
【年通号数】公開・登録公報 2019-030  
【出願番号】特願 2018-557342 (P2018-557342)  
【国際特許分類】

B 6 5 D 83/00 (2006.01)

A 4 7 K 5/12 (2006.01)

【F I】

B 6 5 D 83/00 K

A 4 7 K 5/12 Z

【手続補正書】

【提出日】令和 2 年 5 月 1 日 (2020.5.1)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

筐体、

取り外し可能かつ交換可能で、分注される製品を収容する詰替ユニット、

処理装置、

記憶装置、

前記詰替ユニット中に残っている用量の数を示す前記記憶装置内に記憶された用量の回数、

前記詰替ユニット中の製品の水準を検出するセンサ、

前記詰替ユニットから分注された製品の前記用量の数を示す分注の回数、

前記分注された製品の前記用量の数、及び検出した前記製品の水準の関数として、前記用量の回数を再較正する記憶装置内に記憶された論理回路、及び

前記詰替ユニット中に残っている製品の前記用量の数を表示する表示装置を含む分注器システム。

【請求項 2】

前記分注の回数は、前記分注された製品の用量毎に増加する、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 3】

前記分注の回数は、前記分注された製品の用量毎に減少する、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 4】

前記水準は、前記詰替ユニット中の製品の第 1 の所定の水準で検出され、かつ前記詰替ユニット中の製品の第 2 の所定の水準で検出され、前記分注器は、前記詰替ユニット中に残っている前記用量の数を第 2 の際に再較正する論理回路を含む、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 5】

前記センサは光レベルセンサである、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 6】

前記センサは前記詰替ユニットの一部である、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 7】

前記詰替ユニット中に残っている製品の前記用量の数は、遠隔ステーションに表示される、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 8】

前記詰替ユニット中に残っている製品の前記用量の数を示す表示装置は、前記分注器に設けられている、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 9】

さらに前記用量の回数を変更する入力を含む、請求項 1 に記載の分注器システム。

【請求項 10】

前記入力が手動入力である、請求項 9 に記載の分注器システム。

【請求項 11】

筐体、  
前記筐体内に少なくとも部分的に配置された詰替ユニットを受け入れる容器、  
処理装置、  
記憶装置、  
前記詰替ユニット中の用量の数を示す記憶装置内に記憶された用量の回数、  
前記詰替ユニット中の製品の 1 つ以上の所定の水準を検出するセンサ、  
分注された製品の用量の数を示す分注の回数、  
前記用量の回数、前記分注の回数、及び前記製品の 1 つ以上の所定の水準の関数として、  
前記詰替ユニット中に残っている前記用量の数を判定する回路、及び  
前記詰替ユニット中に残っている前記用量の数を示す情報を表示する表示装置  
を含む分注器システム。

【請求項 12】

前記製品は流体である、請求項 11 に記載の分注器システム。

【請求項 13】

さらに前記詰替ユニット中に製品の第 2 の所定の水準を含み、前記詰替ユニット中に残っている前記用量の数を第 2 の際に再校正する論理回路を含む、請求項 11 に記載の分注器システム。

【請求項 14】

前記センサは光レベルセンサである、請求項 11 に記載の分注器システム。

【請求項 15】

前記詰替ユニット中に残っている製品の用量の数を表示する前記表示装置は、前記分注器に設けられている、請求項 11 に記載の分注器システム。

【請求項 16】

さらに残っている製品の前記用量の数を遠隔ステーションに送信する無線通信回路を含む、請求項 11 に記載の分注器システム。

【請求項 17】

分注器中の容器内に残っている流体の用量のより正確な数を表示する方法であって、  
分注器を提供することを含み、  
前記分注器は、  
筐体、  
詰替ユニットを受け入れる筐体内の領域、  
前記詰替ユニット中の製品の 1 つ以上の量を判定するセンサ、  
前記詰替ユニットが満杯になると、前記詰替ユニット中の製品の用量の数を示す数値を記憶する回路、  
前記製品を分注するアクチュエータ、  
分注された製品の前記用量の数を示す数値を記憶する回路、及び  
前記詰替ユニット中に残っている製品の前記用量の数を示す表示情報  
を含み、

前記分注器から製品の複数の用量を分注すること、  
前記詰替ユニット中の製品の水準を判定すること、及び  
前記詰替ユニットが満杯のときの前記詰替ユニット中の製品の前記用量の数、分注された製品の前記用量の数、及び前記詰替ユニット中の製品の前記水準を示す数値の関数として、前記詰替ユニット中に残っている製品の前記用量の数を計算すること、を含む方法。

【請求項 18】

さらに表示装置上に分注された製品の計算した用量の数を示す情報を表示することを含む、請求項 17 に記載の方法。

【請求項 19】

前記表示装置は前記分注器に設けられている、請求項 18 に記載の方法。

【請求項 20】

前記表示装置は遠隔ステーションに設けられている、請求項 18 に記載の方法。